

温々 ギャラリー案内 2017年7月～12月 <下半期>

TEL/FAX 048-686-3620

〒337-0001 埼玉県さいたま市見沼区丸ヶ崎1856

<http://cafe-nukunuku.com>

7月11日(火)～7月23日(日) 森下 彰太 陶展 〈紅のうつわ〉	紅色に焼き上がる小笠原父島の赤土。亜熱帯の風土で生まれたこの土の原初的な力をとどめながら 現代の食や空間にも合ううつわが創れたらと思っています。その他 粉引のうつわなども展示します。
7月25日(火)～7月30日(日) 工房集 グッズ展	「温々」で9回目となる今回は、スタンドグラスをメインに展示販売します。夏にふさわしい透明感溢れるガラスの作品たち。個性豊かなスタンドグラスの作品をお楽しみください。スタンドグラスの他に織り小物や工房集一押しの商品が並びます。
7月31日(月)～8月3日(木)	夏季休業
8月4日(金)～8月13日(日) 宮下 香代 「形と色」紙造形	主に和紙と鉄の針金を用いて造形物を制作しています。気持ちのいい形づくりを求めて手を動かし、和紙の素材を生かすよう心掛けています。ここ数年は、和紙本来の色に加え藍、墨、銀彩、胡粉などで彩色を施すと形のもつ印象が変わることに興味が広がっています。
8月15日(火)～8月27日(日) 宮本 佳緒里×RIPPLE 「布、トリドリ」	宮本佳緒里/ 国や素材の違う様々な布を、日々つなぎ、作っています。 RIPPLE/ 季節の色で染め上げた自然素材の衣たち。すべてひとつずつ。一人だけの色。
8月29日(火)～9月10日(日) 秋谷 茂郎 陶展	土を水で練り、伸ばすように形を作る、石と木の灰と金属で釉をつくり、火を使い焼き上げる。焼き物は自然の中の成分を引き出して出来ています。だから丁寧につくりたい。美味しいうつわを暮らしのなかに。
9月12日(火)～9月24日(日) 仕草 植物がつくる跡と模様	その時その場所にある素材で布を染めたり形を作ったり。どんな色や形になるのだろう？作ること、あの場所に並べること、想像してワクワクしています。手ぬぐいや袋物をもって伺います。
9月26日(火)～10月9日(月・祝) しもゆきこ木版画展 「コスモスと蟻」 (寺田寅彦著「柿の種」より)	—— コスモスの高さは蟻の身長の数百倍である。人間に対する数千尺に当たるわけである。—— という寺田先生の世界観に今年は心惹かれています。
10月11日(水)～10月22日(日) 高久 敏士 白磁展	2回目の作陶展です。白磁展ですが 今回は、新しい釉薬、形に挑戦しました。白磁と共に見て頂きたいです。磁器でありなが温かみのある作品を作っていきたいと思います。
10月24日(火)～11月5日(日) まつやまさとこ・伊藤はなよ二人展 暮らし	布画家 まつやまさとことストーリーテラーであり、木や布を使い暮らしまわりのいろいろを生み出す伊藤はなよの初の二人展です。日々の暮らしを大切にしている二人が、毎日を豊かに、楽しく美しく彩る作品をお届けします。二人のコラボレーション作品も予定しています。是非会場でじっくりとお楽しみください。 <hotsumi GALLERY プロデュース>
11月7日(火)～11月19日(日) 安田 裕康 焼締陶展	四季折々。季節の移ろいを感じ取り、日々暮らす私たち。私の器はこれからの時節にしっかりと寄り添うと感じています。触れ、感じてもらえますように。
11月21日(火)～12月3日(日) 落合 芝地 「木工と漆の仕事」展	四年振りの温々さんでの展示です。今回は最近力を入れているお盆やトレーなどを多く見てもらおうと思っています。
12月5日(火)～12月25日(月)	しめしめ展
12月26日(火)	♫ LIVE
12月27日(水)～1/4(木)	冬季休業